

補助員への説明事項

1. 時計係

試合時間は、小学生・中学生は2分間、高校生は3分間。代表者戦となった場合の試合時間は同じ。代表者戦で時間内に勝敗が決しない場合は審判員の判定。

時間計測の方法

- ・主審の合図：「始め」、「二本目」、「勝負」で時計スタート
- ・主審の「止め」の合図（審判旗を垂直に上げる）、主審の有効打突の宣告（例：面あり）で時計ストップ
- ・主審の「分かれ」の合図（審判は旗を水平に上げる）では時計はそのまま（ストップしない）

タイマー旗

- ・時計がストップしている時は旗を上げ（主審に見えるように）、時計がスタートしたら（時間が進んでいる時は）旗を下ろす。
- ・旗は、試合開始前に選手が試合場へ入ったら上げ、試合開始とともに下ろす。

時間終了の合図

- ・試合時間終了の合図は、タイマー旗を上げ、笛を鳴らす。主審に向けて鳴らす。主審が気づかなければ気づくまで鳴らす。
- ・試合時間終了の合図と、選手の有効打突が同時の場合は、有効打突が優先する（審判の旗が上がった場合はいったん時間が止まる）。試合再開直後に、再度終了を知らせる。（主審の「二本目」や「勝負」の合図と同時に笛を鳴らし、タイマー旗をあげる）

2. 掲示係

対戦チームのオーダー表（及び記録紙）を試合ごとに付け替える。

試合の有効打突や反則のマグネットを掲示板に貼る。有効打突はオーダー表に近い方から貼る。赤の選手（オーダー表は上側）の1本目は上、2本目はそのすぐ下。白の選手（オーダー表は下側）の1本目は下、2本目はそのすぐ上。反則の▲マークはオーダー表のすぐ側。反則を宣告された選手側に貼る。

試合中は椅子に着席する。立っていると掲示が見えない場合があるため。

3. 記録係

記録用紙に試合の記録を記入し、記入が終わったら本部に届ける。

掲示した結果と記録用紙の結果が相違ないように注意する。

4. 選手係

組み合わせと試合進行表を確認し、次の試合の選手の呼出しを行う。その際、選手がマスク着用しているか、マウスシールドを装着しているかを確認する。

試合と試合の間に床除菌をする（除菌シート・モップで選手席を拭き取りする）

部門と部門の間に試合場の床除菌をする。

試合は以下の通り各試合場で上から下の順に行う。

第 1 試合場	第 2 試合場	第 3 試合場	第 4 試合場
小学生団体	小学生団体		
小学生決勝			
中学生男子団体	中学生男子団体	中学生男子団体	中学生男子団体
中学生女子団体	中学生女子団体	中学生女子団体	中学生女子団体
中学生男子準決勝	中学生女子準決勝	中学生男子準決勝	中学生女子準決勝
中学生男子決勝	中学生女子決勝		
高校生男子団体	高校生男子団体		
高校生女子団体	高校生女子団体		
高校生男子決勝	高校生女子決勝		

※各試合場でコート決勝まで行ってください。（小学生高校生は準決勝まで行う）

※小学生決勝、中学生準決勝・決勝、高校生決勝は上記のとおり指定の試合場です。

※試合進行状況により、上記の予定通りにならないことがあります。

5. 昼食・控室・服装

昼食の用意はありません。各自準備してください。

休憩は控室でおこなってください。控室は「第二会議室」です。

服装について特に規定はありませんが、剣道の試合に相応しい服装を選んでください。

